

(別記)

## 令和3年度 海部東地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用面積の割合が約70%で、転換作物に占める飼料用米の面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

しかし、主食用米の需要が減少する中で、他の作物の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稻作付面積の維持が課題となっている。

### 2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

麦については、愛知県麦民間流通地方連絡協議会及び愛知県麦品質向上定着推進会議で需要に応じた生産や品質向上について検討している。当該地域では、愛知県農業改良普及課、JAあいち経済連、JA及び生産者で生産性及び品質向上のため栽培技術の検討会を開催している。

また、津島市、あま市、JA及び生産者が連携して農地の集積により団地化を進めていき生産性及び作業効率の向上を目指していく。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域は、担い手が稲・麦を主として需要に応じた生産が行われている。今後も麦の作付面積を拡大していくので水田として引き続き維持していく。

また、水稻作物の作付が困難な農地については、令和3年から4年の間に現状の確認を行う。令和5年までに地域の実情に応じた作物の導入に向けて水田農業高収益化推進助成を活用して畑地化を進めていく。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

売れる米作りの徹底により、米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

#### (2) 備蓄米

主食用と同じ機械、施設で取り組めるため、需要に応じて面積を検討していくこととする。

### (3) 非主食用米

#### ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転換作物の中心作物に位置づける。飼料用米の生産拡大に当たっては、産地交付金を活用し、当該地域の主食用品種と作期が重ならない多収品種の導入を検討し、団地化による更なる低コスト化生産を推進する。

また、低コスト化を図るとともに直播栽培技術の導入及び地域の畜産農家との連携による畜産物のブランド化を進めるため、畜産農家との長期契約の取組を推進する。

#### イ 米粉用米

該当なし

#### ウ 新市場開拓用米

国内需要の縮小していくなか、新市場への販路拡大が急務である。このため輸出数量を拡大していくために実需者と地域で連携して取り組んでいく。

#### エ WCS 用稲

作業時期の分散が出来る転換作物として、省力化、コスト低減への取組が進んでいる。産地交付金を活用し、取組の定着を図り、面積を拡大していくこととする。

#### オ 加工用米

加工用米は、一定の需要があるので生産を継続している。このため、生産性向上に取組みながら需要に応じた生産を行っていく。

### (4) 麦、大豆、飼料作物

小麦については、食料自給率・自給率向上の観点からも重要な作物であることから、産地交付金を活用し、生産性・品質向上への取組や団地化等の取組を通じ、作付面積を拡大していく。

### (5) そば、なたね

該当なし

### (6) 高収益作物

該当なし

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面 積等 (ha)
主食用米	897	881	866
備蓄米	8	5	5
飼料用米	114	116	118
米粉用米			
新市場開拓用米	—	4	6
WCS用稲	5	6	7
加工用米	11	12	14
麦	14	39.8	47
大豆			
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば			
なたね			
高収益作物			
・野菜			
・花き・花木			
・果樹			
・その他の高収益作物			
その他			
・			
畑地化			

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度(実績)	目標値
1	飼料用米(多収品種) (基幹作)	飼料用米多収品種の 導入への助成	取組面積	(2年度) 28ha	(5年度) 31ha
2	WCS用稲 (基幹作)	WCS用稲の生産性 向上への助成	取組面積	(2年度) 5.4ha	(5年度) 7ha
3	小麦 (基幹作、二毛作)	小麦の収量、品質向 上への助成	取組面積	(2年度) 14ha	(5年度) 47ha
4	加工用米・新市場 開拓用米(基幹作)	加工用米・新市場開 拓用米の生産性向上 への助成	加工用米取組面積	(2年度) —	(5年度) 14ha
			新市場開拓用米取組面積	—	6.5 ha
			合計	—	20.5 ha
5	小麦・飼料用米 WCS用稲・加工用 米・新市場開拓用 米(基幹作)	転換作物拡大加算	小麦拡大面積	(2年度) 0ha	(5年度) 2 ha
			飼料用米拡大面積	—	1 ha
			WCS用稲拡大面積	—	0.5 ha
			加工用米拡大面積	—	1 ha
			新市場開拓用米拡大面積	—	1 ha

			合計	0ha	5.5 ha
6	加工用米・新市場 開拓用米(基幹作)	高収益作物等拡大加算	加工用米拡大面積 新市場開拓用米拡大面積 合計	(2年度) — — —	(5年度) 1 ha 1 ha 2 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧(会員名簿)を添付してください。